



**LE
GRAND ORGUE
DE
KOBE SHOIN**

神戸松蔭女子学院大学チャペル&オルガン 略史(~2003)

- 1978年 6月：本学理事会にてパイプ・オルガン(スタンド・グラス、カリヨンとともに)購入決定
1978年 8月：H.フォーゲル氏のオルガン・ツアーに平島達司教授を派遣
1979年 1月：製作者M.ガルニエとの建造契約締結
1980年 5月：ガルニエ氏、竹中工務店、本学関係者でチャペル音響について協議
6月：平島教授著「オルガンの歴史とその原理」を本学学術研究会より刊行
8月：竹中工務店技術研究所がオルガン・ツアーに参加し、ヨーロッパの教会堂音響測定
1981年 3月：立花江津子氏によるスタンド・グラス完成
4月：チャペル落成。祝別式挙行
6月：プティ・アンド・フリッツェン社製のカリヨン設置(聖歌および笠松泰洋氏作曲によるチャイム)
11月：第1回チャペルコンサート開催
1982年 1月：ガルニエ氏来校。チャペル音響効果確認
1983年 6月：オルガン組立て開始
9月：オルガン完成
11月：奉献式・記念演奏会(4回)、鈴木雅明、トン・コープマン、エリザベト・ガルニエ
11月：第1回オルガン・コンサート(演奏:林佑子氏)
1984年 3月：J.ファン・インマゼール氏演奏(第24回)
9月：グザヴィエ・ダラス氏 パイプ・オルガン公開レッスン
12月：第1回クリスマス・チャリティーコンサート
1985年 9月 松蔭バツハ・チクルス開催(第37~41回)
~12月：
1986年 3月：平島教授逝去
1987年11月：トン・コープマン氏演奏(第52回)
1988年11月：ピート・ケー氏、ミヒヤエル・ラドゥレスク氏演奏(第56,57回)
1989年12月：ヘンデル:メサイア(演奏:神戸室内合奏団、指揮:鈴木雅明)
1991年10月：ミシェル・シャピユイ氏演奏(第75回)
1992年 3月：ポジティブ・オルガン購入(マルク・ガルニエ社)
7月：バツハ・コレギウム・ジャパンによるJ.S.バツハ:教会カンタータ全曲シリーズ開始(第79回)
9月：松蔭女子学院創立100周年
1993年 3月：オルガン改修(ストップのシステム改良、調律法の修正)
8月：カリヨン改修(コンピュータ制御化、小鍛冶邦隆氏に新曲の作曲依頼)
11月：オルガン奉獻10周年記念礼拝・演奏会(演奏:トン・コープマン、鈴木雅明)
1994年 4月：マリー・クレール=アラン氏演奏(第90回)
1995年 1月：阪神・淡路大震災(オルガンの被害は軽微、3月に応急修理を行い、演奏可能となった)
3月：被災者のための演奏会「我ら苦難の極みにあるときも」開催。(演奏・指揮:鈴木雅明)
6月：オルガン修理および改修(調律法を元に戻す)
6月：鈴木雅明氏演奏「グリニー:オルガン・ミサ」(M.ガルニエ氏によるCD録音も行う。第98回)
7月：バツハ・コレギウム・ジャパンによる教会カンタータ全曲のCD録音開始。(第99回)
1996年 9月：神戸松蔭オルガン・レクチャーコンサート開始(ディレクター:長谷川美保)
12月：バツハ・コレギウム・ジャパンによるヘンデル:メサイア演奏&CD録音
1998年 4月：ジャック・ファン・オールトメルセン氏演奏(第118回)
4月：J.S.バツハ:ヨハネ受難曲CD録音(バツハ・コレギウム・ジャパン)
1999年 3月：J.S.バツハ:マタイ受難曲CD録音(バツハ・コレギウム・ジャパン)
2000年 5月：J.S.バツハ:ブランデンブルク協奏曲CD録音&演奏会(第138回)
11月：第1回「若い世代のためのパイプ・オルガン体験レッスン」開催
2001年 3月：オルガン改修(メカニック部分の強化)
9月：ジャン・ボワイエ氏演奏(第148回)
2002年 9月：松蔭女子学院創立110周年記念式典をチャペルで行う
11月：第1回「オルガン・パイプ作り1日体験コース」開催 講師:マルク・ガルニエ氏
2003年11月：オルガン奉獻20周年感謝礼拝・記念演奏会(演奏:上野静江、大塚直哉、鈴木雅明)
ハラルド・フォーゲル氏公開講演&演奏会

オルガン製作：マルク・ガルニエ オルガン工房(1983年11月2日奉獻)

Manufacture d'orgue MARC GARNIER (2 Nov.1983)

ストップ仕様

第2鍵盤:グラントルグ

音域:C,D-c³

ブルドン	16'
モントル	8'
ブルドン	8'
プレスタン	4'
フリユート	4'
ナザール	2 2/3'
ドゥプレット	2'
ティエルス	1 3/5'
フルニテュール	4列
サンバル	3列
コルネ	5列(高音部)
トロンベット	8'
クレロン	4'
ヴォア・ユメヌ	8'

第1鍵盤:ポジティブ

音域:C,D-c³

ブルドン	8'
モントル	4'
フリユート	4'
ナザール	2 2/3'
ドゥプレット	2'
ティエルス	1 3/5'
ラリゴ	1 1/3'
フルニテュール	3列
サンバル	2列
クロモルヌ	8'

第3鍵盤:レンシ

音域:f⁰-c³ (32鍵、グラントルグのコルネと同一水準に位置する)

コルネ	5列
トロンベット	8'

第4鍵盤:エコー

音域:c⁰-c³ (37鍵、オルガン基壇内部に位置する)

コルネ	5列
-----	----

ペダル鍵盤 (交換可能)

—フランス式ペダル (音域:FF-f¹)
—ドイツ式標準型ペダル (音域:C-f¹)

トランスミッション・ブルドン	16'
トロンベット	12'
フリユート	8'
フリユート	4'

付属設備

—カブラー ポジティブ/グラントルグ
—ペダル・カブラー グラントルグ/ペダル
—つよいトランブラン
—やわらかいトランブラン

調律法

変形されたミーントーン(平島達司による)

Disposition

2ième Clavier:Grand Orgue

C,D-c³

BOURDON	16'
MONTRE	8'
BOURDON	8'
PRAESTANT	4'
FLÛTE	4'
NAZARD	2 2/3'
DOUBLETTE	2'
TIERCE	1 3/5'
FOURNITURE	4 rangs
CYMBALE	3 rangs
CORNET	5 rangs(dessus)
TROMPETTE	8'
CLAIRON	4'
VOIX HUMAINE	8'

1er Clavier:Positif

C,D-c³

BOURDON	8'
MONTRE	4'
FLÛTE	4'
NAZARD	2 2/3'
DOUBLETTE	2'
TIERCE	1 3/5'
LARIGOT	1 1/3'
FOURNITURE	3 rangs
CYMBALE	2 rangs
CROMORNE	8'

3ième Clavier:Récit (32 keys)

f⁰-c³ situé au niveau du Grand Cornet du Grand Orgue

CORNET	5 rangs
TROMPETTE	8'

4ième Clavier:Echo (37keys)

c⁰-c³ situé dans le soubassement de l'Orgue

CORNET	5 rangs
--------	---------

Clavier de Pedal (interchangeables)

—Avec fourniture d'un pédalier français : FF-f¹
—Avec un petit pédalier germanique : C-f¹

Transmission	BOULDON 16'
TROMPETTE	12' FF-f ¹
FLÛTE	8' C-f ¹
FLÛTE	4' C-f ¹

Les Accessoires:

—Accouplement Grand Positif/Orgue
—Tirasse Grand Orgue
—Tremblant fort
—Tremblant doux

Le Temperament

modification mean-tone temperament(T.Hirashima)



KOBE
SHOIN WOMENS
UNIVERSITY
Founded in 1892

神戸松蔭女子学院大学

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1
1-2-1 Shinohara-obanoyama-cho Nada-ku.Kobe 657-0015
Tel.078-882-6124 Fax.078-882-6136
e-mail:chapel@shoin.ac.jp <http://www.shoin.ac.jp>